

ポルトガル月報

2024年6月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★欧州議会選挙の実施

【外交】★アントニオ・コスタ前首相の次期欧州理事会議長への選出

【経済】★ポルトガル投資貿易公社(AICEP)CEOの交代

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

内政

●ポルトガルの日に関する記念行事の開催

6月10日、「ポルトガルの日」の記念行事が世界各地(24都市、16か国)のポルトガル人コミュニティによって開催された。ポルトガルでの公式式典は、ペドロガオ・グランデ(中部)における軍事式典から始まり、レベロ・デ・ソウザ大統領が参加した。続いてコインブラでのルイス・デ・カモンイス生誕500年記念式典が行われた。同日、ルイス・モンテネグロ首相はスイスを訪問した。スイス訪問中、同首相は、在スイスのポルトガル人コミュニティと交流し、翌日には、ジュネーヴにあるポルトガル学校を訪問し、生徒と交流した。「ポルトガルの日」に、リタ・ジュディス法務大臣はマカオ、フェルナンド・アレシャンドレ教育・科学・イノベーション大臣はアンゴラ、パウラ・マルティンス保健大臣はモロッコを訪問するなど、多くの閣僚が世界各地で行われた式典に参加した。

●インテルカンパス社の世論調査結果

6月17日、インテルカンパス社は政党支持に関する世論調査結果を発表した。世論調査の結果、与党の民主同盟(AD)が26.8%を獲得し支持率1位となった。4月及び5月の世論調査で最多支持率を獲得した社会党(PS)の支持率は減少し、24.6%となった。第2野党であるシェーガ党(CH)の支持率も先月から下落した。

同社による最新の政党別支持率は以下のとおり。

政党	3月	4月	5月	6月
民主同盟(AD)*	28.8	22.5	22.3	26.8
社会党(PS)	28.0	26.6	23.1	24.6
シェーガ党(CH)	18.0	14.4	16.3	14.6
リベラル主導党(IL)	4.9	9.0	8.4	8.5
左翼連合(BE)	4.3	7.3	7.7	6.5
統一民主同盟(CDU)**	3.1	2.1	2.3	1.5
人と自然と動物の党(PAN)	1.9	2.7	3.0	2.8
自由党(L)	3.1	5.3	8.8	5.0

*社会民主党(PSD)と民衆党(CDS-PP)の連合

**ポルトガル共産党(PCP)・緑の党(PEV)の連合

★欧州議会議員選挙の実施

6月7日から9日にかけて、欧州議会選挙が行われた(当国の投票日は9日)。選挙の結果、社会民主進歩同盟(S&D)に所属するPSが8議席を獲得し、勝利した。欧州人民党(EPP)所属の当国与党であるADは7議席を獲得した。3月の共和国議会選挙で躍進した右派政党CH及び欧州刷新(Renew Europe)所属のILは共に2議席を獲得し、初の欧州議会議員選出となった。

獲得議席数を含む選挙結果は以下のとおり。

政党	欧州議会政党会派	得票率	獲得議席数
PS	社会民主進歩同盟 (S&D)	32.1%	8
AD	欧州人民党 (EEP)	31.1%	7
CH		9.7%	2
IL	欧州刷新 (Renew Europe)	9.0%	2(0)
BE	The Left (GUE/NGL)	4.2%	1(2)
CDU	The Left (GUE/NGL)	4.1%	1(2)
L	欧州自由連合 (Green/EFA)	3.7%	0(0)
PAN	欧州自由連合 (Green/EFA)	1.2%	0(1)

*社会民主党 (PSD) と民衆党 (CDS-PP) の連合

**ポルトガル共産党 (PCP) ・緑の党 (PEV) の連合

●マデイラ自治州での政府綱領提出の取り下げ

6月20日、ミゲル・アルブケルケ/マデイラ自治州知事は、5月の選挙後に野党との交渉が難航した結果、自治州議会での投票前日に政府綱領の提出取り下げを決めた。議会に提出される予定であった政府綱領は、同議会における最大野党である社会党 (PS) (11議席獲得)、人民共同党 (JPP) (9議席獲得) 及びシェーガ党 (4議席獲得) が投票態度反対を示していたため (上記3党合計で24議席となり、同議会での過半数となる。)、承認されるのは困難である見通しであった。同州知事は今後、野党と再度協議を行い、30日以内に新たに政府綱領を提出する。

外交

●ポルトガル、ウクライナとモルドバのEU加盟交渉開始を支援

6月5日、ポルトガル外務省は、EU理事会議長国を務めるベルギーに対して、ウクライナとモルドバのEU加盟交渉を開始するために、2024年6月に政府間会合を開催するよう求める書簡をEUの11か国加盟国と共に発表した。

●パウロ・ランジェリ外務大臣の平和サミット参加

6月15日、16日、パウロ・ランジェリ外務大臣はスイスにて開催されたウクライナ平和サミットに参加した。食料安全保障に関するセッションで、同外務大臣はロシアによるウクライナ侵攻により、安全な穀物等の輸送が危険にさらされ、世界中の穀物価格の上昇がもたらされた事を問題提起すると共に、アントニオ・グテーレス事務総長を

中心に国連及びトルコの尽力で、穀物輸出の合意が成立されたことに言及した。加えて、ランジェリ外相は、ウクライナ産の穀物輸出について、「現在はロシアの侵攻前の数値まで回復しつつあるが、これを保証できるのは平和だけであり、この平和は公正で永続的なものでなければならない。」と発言した。

●モンテネグロ首相、フランスを訪問

6月19日、ルイス・モンテネグロ首相はフランスを訪問し、エマニュエル・マクロン大統領と会談した。モンテネグロ首相は、「私は二国間関係を強化して、我々の目の前に、両国民のための更なる協力可能性があることをお伝えするためにここに来た。我々は今後数年間、二国間関係を確実に強化していく。」と述べた。また、同首相は、ロシア・ウクライナへの支援やガザ地区の状況に言及し、「EUにおける主要な議題において両国は同じ方向を向いている。」と述べた。加えて、モンテネグロ首相は、今年にフランスで開催されるオリンピック・パラリンピックの成功を祈ると共に、自身がポルトガル選手団に同行し同国を訪問すると明らかにした。

★アントニオ・コスタ前首相の次期欧州理事会議長選出

6月27日、アントニオ・コスタ前首相は、EU加盟27か国の首脳によって次期欧州理事会議長に選出された。コスタ前首相は、「次期欧州理事会議長という重責を担うことになり、大きな使命感を抱いている。私を選んでもくれた欧州理事会のメンバー、そしてこの決定を支持してくれた社会民主進歩同盟 (S&D) とポルトガル政府に感謝する。」と述べた。ルイス・モンテネグロ首相はコスタ前首相の選出を「EU及びポルトガルにとって喜ばしい日」と表現した。また、「ポルトガル政府はこの目的 (コスタ前首相の欧州理事会議長就任) を達成するために強力なコミットメントをしてきた。我々は当該3名 (コスタ次期欧州理事会議長、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長及びカヤ・カラス外交安全保障上級代表) が、経験、対話能力、調整能力を有し、EU内の政党会派間の架け橋となる力があることを確信している。」と述べた。

●ヌーノ・サンパイオ外務協力担当副大臣のギニアビザウ

訪問

6月25日から27日、ヌーノ・サンパイオ外務協力担当副大臣は、ギニアビザウを訪問し、ウマロ・シソコ・エンバロ大統領、ルイ・ドゥアルテ・バホース首相、カルロス・ピント・ペレイラ外務・国際協力・共同体大臣と会談を行った。サンパイオ副大臣は、ポルトガル文化センター、在ギニアビザウ/ポルトガル大使館、ビサウ大学法学部等を訪問した。

経済

★ポルトガル投資貿易公社（AICEP）CEOの交代

6月3日、ペドロ・レイス経済大臣は、フィリッペ・サントス・コスタAICEP・CEO及び同社の理事会メンバーを解任した。同大臣は、AICEP・CEO解任について、「政府プログラムに沿った新たな推進力とビジョン」を与えることが目標とされている。コスタ前AICEP・CEOは同職に2023年4月に就任していた。新CEOには、リカルド・アロージャ/ミーニョ大学経済経営学客員教授が任命された。任期は3年となる。

●2024年5月の年間消費者物価指数の発表

6月10日、国立統計院は2024年5月の消費者物価指数（CPI）を発表した。同月の消費者物価指数は3.1%となり、前月から0.9%増加した。この数値は、欧州連合統計局によって発表されたユーロ圏の同時期の数値（2.7%）を下回る。ポルトガル及びユーロ圏の過去の消費者物価指数は以下のとおり。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
葡	1.4%	2.3%	2.1%	2.3%	2.2%	3.1%
ユーロ圏	2.5%	2.8%	2.6%	2.4%	2.4%	2.7%

●2023年5月の電源構成における再生可能エネルギーの割合発表

6月12日、ポルトガル再生可能エネルギー機関（APREN）は国内の再生可能エネルギーに関するデータを発

表した。ポルトガルの2024年3月の電源構成における再生可能エネルギーの割合は84.5%となった。種別では、水力が31.4%、風力が35.6%、太陽光が16.7%、バイオマスが11.9%となった。ポルトガルの電源構成における各月の再エネ割合は下記。

	1月	2月	3月	4月	5月
再エネ割合	80.4%	83.5%	84.4%	87.6%	84.5%

●オトニエル・カルバリーヨ/アンゴラ金融・国庫担当副大臣のポルトガル訪問

6月18日、シルヴァ・ロペス国庫・金融担当副大臣は、オトニエル・カルバリーヨ/アンゴラ金融・国庫担当副大臣の訪問を受けた。同会合では、財務・金融分野での2国間の協力可能性について意見交換がなされた。

●2024年第1四半期の経済成長率の発表

6月24日、国立統計院（INE）は2024年第1四半期の経済成長率に関する数値を発表した。同期間の経済成長率は3.2%となり、2023年第4四半期から0.5%増加した。

★水素車両購入に関する支援の発表

6月26日、環境・エネルギー省及びインフラ・住宅省は、復興・強靱化計画（PRR）基金から、9000万ユーロを拠出し、300台の水素自動車・バスを購入を支援するための自治体や民間企業向けの入札を開始すると発表した。これにより、国内の水素自動車・バスの台数は倍増する見込み。グラサ・カルバリーヨ環境・エネルギー大臣は、「公共交通分野における脱炭素化は政府の優先事項のひとつであり、この入札は我々の確固たるコミットメントを示すものである。この施策は当国のカーボンニュートラル達成目標に大きく貢献するものである。」と述べた。

（了）